

## ○処方適正化アプローチ事業

福岡県内での指針の活用実績を得るため、協力医療機関を選定し、東大病院で実施している「薬剤師による持参薬評価テンプレートを用いたスクリーニング」を導入して、処方適正化アプローチを実施する。

### 【2018年度】

2018年10月～12月で、6つの協力医療機関に新規入院した65歳以上の患者を対象に実施した。

### 【2019年度】

2018年度の医療機関は一般病院であったことから、2019年度は入院期間が長い医療機関で取組を実施する。

## ○研修会の開催

指針の普及・浸透を図るため、医師、薬剤師、看護師等の多職種を対象に、処方適正化アプローチの取組事例等の講演を実施する。

- ・ポリファーマシー対策のための指針
- ・処方適正化アプローチの取組事例
- ・高齢者に特徴的な有害事象
- ・高齢者に適切な薬物療法
- ・国や県の動向、取組

## ○お薬手帳の活用促進事業

服薬情報の一元化を図り、お薬手帳の正しい活用を促進するため、75歳以上の重複服薬者に対して、リーフレット及びお薬手帳ホルダーを送付し、その効果を解析する。

### 【2018年度】

#### ●抽出条件

複数の医療機関から30日以上同一の医薬品の処方を受けている者

●送付者数 10,344名

### 【2019年度】

抽出条件該当者の増減や送付対象者のお薬手帳の持参状況を確認し、その結果を踏まえ、抽出条件や抽出期間を検討して、新たな対象者に送付を行う。

## ○啓発資材の作成

医薬品の適正使用には患者とその家族の理解と協力、医療関係者からの丁寧な説明と情報提供が必要不可欠であるため、服薬指導の際に活用可能なポリファーマシーに関する啓発資材を作成する。



例) 日本老年医学会  
作成パンフレット

# 福岡県における今後の取組み(案)

	2018年度				2019年度			
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
協議会		● 第1回		● 第2回		● 第1回		● 第2回
処方適正化アプローチ実施事業		準備・実施・解析				準備・実施・解析		
お薬手帳活用促進事業		対象者選定	● 配布			解析	対象者選定	● 配布
研修会						● 第1回		
啓発資材の作成						内容検討・配布準備		● 作成